

令和8年度第1回宇和島圏域災害医療対策調査票

所属名: 市立宇和島病院

【御依頼】貴院における大規模地震発生後の3日間(72時間)の想定アクションを記載してください。
 発災時点は、平日午前9時とします。

項目/時系列	1日目				2日目	3日目
	0～3h (9:00-12:00)	3～6h (12:00-15:00)	6～12h (15:00-21:00)	12～24h (21:00-9:00)	24～48h (9:00-9:00)	48～72h (9:00-9:00)
組織・体制 (災害対策本部 立ち上げ)	院長を本部とし た本部設置と災 害のスイッチ	CSCAの確立				
職員の 安否・参集	Dr.JOYなどを利 用した安否確認 (非出勤者)	職員の配置 勤務調整				
建物・設備 (被害状況)	防災センターな どから情報収 集。各病棟から も連絡	ゾーニング				
ライフライン (電気・水道等の 稼働確認、制限)	防災センターか ら確認	ライフラインの途 絶があれば支援 要請				
食糧・飲料水 (在庫対応・支援 要請)	食養科部門の被 災状況チェック	備蓄のチェック 不足分の依頼				
医薬品・医療資 機材 (在庫対応・支援 要請)	薬局にも災害の スイッチを入れる	院内在庫と必要 薬品のオーダー	周囲薬局、薬剤 師会との連携			
入院患者対応 (避難・誘導)	災害のスイッチ より一般診療ス トップ。各病棟よ り患者情報を入 手	転院搬送が必要 なPtリスト、空床 ベット数のチェッ ク	退院可能なPtは 退院→空床確保			
外来診療 (トリアージ)	一般外来診療は 中止	一般外来患者の 誘導、臨時処方 (臨時薬局)				
救急受入 (可否・制限)	トリアージエリア 確保	トリアージエリア の準備、物品、 ベッド	役割分担 勤務調整 物品管理	TTTへの移行	周囲病院との連 携 病床コントロール	
手術・透析 (他院へ要請)	手術中の場合継 続の可否、一時 的には新規Op 中止	病院全体の状況 からOp可能かの 判断	透析ネットワー クとの連携、透析 Pt受入可能人数 チェック		予定手術などは 搬送手段を チェック 緊急Opは対応	→
受援体制 (DMAT等の受 入、活動場所)	DMATもまずは 院内本部設置の 支援	DMAT本部設置 の準備			搬送調整など。 救護所、避難所 のアセスメント	→

自由意見欄	(例: 地域の医療機関と共有・調整したい事項、保健所・行政へ期待する支援等) 発災後早い段階で、保健所-市役所-医療機関-消防-医師会間で会議体を作りたい。
補足	・本調査は、各医療機関の災害対応を共有し、圏域内の連携強化を目的として実施するものです。 ・現時点で想定している対応について、簡潔に御記載ください。(箇条書き、矢印での図示等) ・未定・該当等、回答が難しい項目は、その旨を御記載ください。

令和8年度第1回宇和島圏域災害医療対策調査票

所属名： 鬼北町立北宇和病院

【御依頼】貴院における大規模地震発生後の3日間(72時間)の想定アクションを記載してください。
 発災時点は、平日午前9時とします。

項目/時系列	1日目				2日目	3日目
	0～3h (9:00-12:00)	3～6h (12:00-15:00)	6～12h (15:00-21:00)	12～24h (21:00-9:00)	24～48h (9:00-9:00)	48～72h (9:00-9:00)
組織・体制 (災害対策本部 立ち上げ)	震度5強以上で 幹部職員自動参 集、即時本部立 ち上げ	→	→	→	→	→
職員の 安否・参集	幹部職員は災害 時用グループ LINEで確認	職場長より適宜 確認、必要時参 集要請	→	→	→	→
建物・設備 (被害状況)	中央監視、整備 員、医事課によ り確認	定期見回り	→	→	→	→
ライフライン (電気・水道等の 稼働確認、制限)	中央監視、整備 員、医事課によ り確認(自家発は3 日間維持可能)	定期見回り	→	→	→	→
食糧・飲料水 (在庫対応・支援 要請)	栄養課により確 認(1週間を目安 に常時備蓄)	→	→	→	→	→
医薬品・医療資 機材 (在庫対応・支援 要請)	薬剤部、中央材 料部により確認 (1週間を目安に 常時備蓄)	→	→	→	→	→
入院患者対応 (避難・誘導)	病棟対応(建物 損壊時は可能な らば原則水平避 難)	転院搬送を要す る場合は本部対 応	→	→	→	→
外来診療 (トリアージ)	医業継続可能で あれば災害時体 制に移行し診療 開始	患者規模により 支援要請検討	→	→	→	→
救急受入 (可否・制限)	医業継続可能で あれば随時受け 入れ	患者規模により 支援要請検討	→	→	→	→
手術・透析 (他院へ要請)	局所麻酔対応な らば待機的に可 能	転院搬送を要す る場合は本部対 応	→	→	→	→
受援体制 (DMAT等の受 入、活動場所)	医業継続困難な 場合は支援を要 請	近隣の被災状況 により支援検討	大会議室にて対 応(5チーム程度 まで)、備品置き 場もあり			

自由意見欄	発災直後より訪問看護ステーションによる在宅患者の安否、状況確認 近隣に町指定の避難所多数あり、必要に応じスタッフ派遣応援も検討 福祉避難所(旭川荘南愛媛病院)とも連携
補足	・本調査は、各医療機関の災害対応を共有し、圏域内の連携強化を目的として実施するものです。 ・現時点で想定している対応について、簡潔に御記載ください。(箇条書き、矢印での図示等) ・未定・該当等、回答が難しい項目は、その旨を御記載ください。

令和8年度第1回宇和島圏域災害医療対策調査票

所属名:愛媛県立南宇和病院

【御依頼】貴院における大規模地震発生後の3日間(72時間)の想定アクションを記載してください。

発災時点は、平日午前9時とします。

項目/時系列	1日目				2日目	3日目
	0～3h (9:00-12:00)	3～6h (12:00-15:00)	6～12h (15:00-21:00)	12～24h (21:00-9:00)	24～48h (9:00-9:00)	48～72h (9:00-9:00)
組織・体制 (災害対策本部 立ち上げ)	暫定災害対策本部設置 →災害対策本部へ移管					
職員の 安否・参集	愛媛県防災メール 職員安否確認 →災害対策本部へ共有		新設エリアの機能の把握と人員調整		新設エリアの機能の把握と人員調整	新設エリアの機能の把握と人員調整
建物・設備 (被害状況)	事前に配布されている チェックリストをもとに、 被害状況を確認					
ライフライン (電気・水道等の 稼働確認、制限)	事前に配布されている チェックリストをもとに、 被害状況を確認					
食糧・飲料水 (在庫対応・支援 要請)	厨房の破損状況の確認 在庫食品/備蓄食品保管 場所の破損状況の確認	委託業者への食事提供 応援勤務の確保				
医薬品・医療資 機材 (在庫対応・支援 要請)	診療材料の被害確認 卸売業者の被災状況 確認		薬剤部より要請を受け、 愛南町保健福祉課へ医薬品 供給依頼書をFAX送信		薬剤部より要請を受け、 愛南町保健福祉課へ医薬品 供給依頼書をFAX送信	薬剤部より要請を受け、 愛南町保健福祉課へ医薬品 供給依頼書をFAX送信
入院患者対応 (避難・誘導)	入院患者数・被災状況 の確認 避難経路の確認	被災患者受け入れ 病棟の決定 傷病者・難病患者等 収容搬送(要請)表を作成、 送信				
外来診療 (トリアージ)	トリアージエリアの決定		新設エリアの機能の把握と 人員調整		新設エリアの機能の把握と 人員調整	新設エリアの機能の把握と 人員調整
救急受入 (可否・制限)	患者の安否確認、被災 状況の報告 スタッフの役割分担の決定		診療体制決定後、役割 分担を決定			
手術・透析 (他院へ要請)	泌尿器科へ連絡		災害対策本部との連絡 手段を確認し随時報告 診療体制決定後、役割 分担を決定		災害対策本部との連絡 手段を確認し随時報告	災害対策本部との連絡 手段を確認し随時報告
受援体制 (DMAT等の受入、 活動場所)	EMISにて被災状況報告 DMAT隊員待機場所 設営					

自由意見欄	(例:地域の医療機関と共有・調整したい事項、保健所・行政へ期待する支援等)
補足	・本調査は、各医療機関の災害対応を共有し、圏域内の連携強化を目的として実施するものです。 ・現時点で想定している対応について、簡潔に御記載ください。(箇条書き、矢印での図示等) ・未定・該当等、回答が難しい項目は、その旨を御記載ください。

令和8年度第1回宇和島圏域災害医療対策調査票

所属名: 宇和島市立津島病院

【御依頼】貴院における大規模地震発生後の3日間(72時間)の想定アクションを記載してください。
発災時点は、平日午前9時とします。

項目/時系列	1日目				2日目	3日目
	0～3h (9:00-12:00)	3～6h (12:00-15:00)	6～12h (15:00-21:00)	12～24h (21:00-9:00)	24～48h (9:00-9:00)	48～72h (9:00-9:00)
組織・体制 (災害対策本部 立ち上げ)	災害対策本部設置	対策本部にて情報共有 →病院局及び宇和島市とも同様に情報共有			院外との通信手段の確保 行政・保健所等と患者の受入状況の共有	
職員の 安否・参集	出勤していない職員の安否確認 →グループLINEにて報告・共有	シフト調整および役割分担	参集職員の仮眠スペースの確保			
建物・設備 (被害状況)	被害状況を職員→所属長→災害対策本部に報告 →ホワイトボード・EMIS等で共有	病院局内およびEMIS等で情報共有				
ライフライン (電気・水道等の稼働確認、制限)	被害状況を職員→所属長→災害対策本部に報告 →ホワイトボード・EMIS等で共有	ポータブルトイレ・水分等の確保 長期に備え電気・水道等の制限を検討				
食糧・飲料水 (在庫対応・支援要請)	給食室の被害状況を確認 状況次第で病棟等への配布	病院局内およびEMIS等で情報共有			在庫状況に応じた食糧支援要請	
電子カルテ	被害状況を確認 →医師・看護師とも情報共有	被害状況により紙カルテ運用へ切替				
医薬品・医療資 機材 (在庫対応・支援要請)	被害状況および1日の必要量と備蓄量の確認				不足分について支援を要請 限られた在庫で入院・外来機能を維持	
入院患者対応 (避難・誘導)	安全の確保 災害規模に応じて避難および避難誘導を実施					
外来診療 (トリアージ) 救急受入 (可否・制限)	診療体制の確認 →場合によっては受入制限の検討	傷病者の応急処置 病院局内およびEMIS等で情報共有			自院で対応できない患者に対して他院への転院調整	避難所等からの体調不良者や薬のない患者の受入検討
手術・透析 (他院へ要請)	被害状況の確認および他院への要請について検討	病院局内およびEMIS等で情報共有				
支援体制 (DMAT等の受入、活動場所)					必要に応じて受援体制の準備	

自由意見欄	(例:地域の医療機関と共有・調整したい事項、保健所・行政へ期待する支援等)
補足	・本調査は、各医療機関の災害対応を共有し、圏域内の連携強化を目的として実施するものです。 ・現時点で想定している対応について、簡潔に御記載ください。(箇条書き、矢印での図示等) ・未定・該当等、回答が難しい項目は、その旨を御記載ください。

令和8年度第1回宇和島圏域災害医療対策調査票

所属名：宇和島市立吉田病院

【御依頼】貴院における大規模地震発生後の3日間(72時間)の想定アクションを記載してください。
発災時点は、平日午前9時とします。

項目/時系列	1日目				2日目	3日目
	0～3h (9:00-12:00)	3～6h (12:00-15:00)	6～12h (15:00-21:00)	12～24h (21:00-9:00)	24～48h (9:00-9:00)	48～72h (9:00-9:00)
組織・体制 (災害対策本部 立ち上げ)	発生次第、即時設置					
職員の 安否・参集	吉田病院職員緊急連絡 用LINEオープンチャットま たは電話で連絡 5km以内の職員は3時間 以内に参集					
建物・設備 (被害状況)	各部署ごとに現場状 況(被害)の報告 (EMIS等入力)					
ライフライン (電気・水道等の 稼働確認、制限)	事務局・施設整備班は、 インフラ被害状況確認 事務局・情報連絡班は、 通信手段状況・IT機器確 認(1時間以内) 自家発電機の確認					
食糧・飲料水 (在庫対応・支援 要請)	入院患者用・職員 用非常食50人分× 3食分×7日分					
医薬品・医療資 機材 (在庫対応・支援 要請)	医薬品備の蓄は7 日分 医療材料の備蓄は 14日分					
入院患者対応 (避難・誘導)	火災の影響がなく、津 波警報の場合は新館・ 新棟2階以上へ避難 誘導(外来患者含む)					
外来診療 (トリアージ)	災害対策本部におい て対応方針を決定(ト リアージポスト設置、 診療他事業継続性の 判断、患者受入)					
救急受入 (可否・制限)	災害対策本部におい て対応方針を決定(ト リアージポスト設置、 診療他事業継続性の 判断、患者受入)					
手術・透析 (他院へ要請)	他院への要請					
受援体制 (DMAT等の受 入、活動場所)	DMAT等の医療チーム用 本部設置場所として「新 館3階食堂兼談話室」、 待機・休憩場所として「新 館2階食堂兼談話室」を 提供					

自由意見欄	(例:地域の医療機関と共有・調整したい事項、保健所・行政へ期待する支援等)
補足	・本調査は、各医療機関の災害対応を共有し、圏域内の連携強化を目的として実施するものです。 ・現時点で想定している対応について、簡潔に御記載ください。(箇条書き、矢印での図示等) ・未定・該当等、回答が難しい項目は、その旨を御記載ください。

令和8年度第1回宇和島圏域災害医療対策調査票

所属名： 愛南町国保一本松病院

【御依頼】貴院における大規模地震発生後の3日間(72時間)の想定アクションを記載してください。
発災時点は、平日午前9時とします。

項目/時系列	1日目				2日目	3日目
	0～3h (9:00-12:00)	3～6h (12:00-15:00)	6～12h (15:00-21:00)	12～24h (21:00-9:00)	24～48h (9:00-9:00)	48～72h (9:00-9:00)
組織・体制 (災害対策本部 立ち上げ)						
職員の 安否・参集	発災後0.5h以内 					
建物・設備 (被害状況)	発災後0.5～1h 					
ライフライン (電気・水道等の 稼働確認、制限)	発災後0.5～1h 					
食糧・飲料水 (在庫対応・支援 要請)	発災後0.5～1h 					
医薬品・医療資 機材 (在庫対応・支援 要請)	発災後0.5～1h 					
入院患者対応 (避難・誘導)	発災後0.5～1h 状況確認・避難 	発災後1h～ 搬送等 				
外来診療 (トリアージ)	発災後0.5h～ 	※受入可能患者 数の状況で変化				
救急受入 (可否・制限)	※トリアージ状況	による				
手術・透析 (他院へ要請)	発災後0.5～1h で開始 					
受援体制 (DMAT等の受 入、活動場所)	災害対策本部と 同時に開設 					

自由意見欄	(例: 地域の医療機関と共有・調整したい事項、保健所・行政へ期待する支援等)
補足	・本調査は、各医療機関の災害対応を共有し、圏域内の連携強化を目的として実施するものです。 ・現時点で想定している対応について、簡潔に御記載ください。(箇条書き、矢印での図示等) ・未定・該当等、回答が難しい項目は、その旨を御記載ください。

令和8年度第1回宇和島圏域災害医療対策調査票

所属名: JCHO宇和島病院

【御依頼】貴院における大規模地震発生後の3日間(72時間)の想定アクションを記載してください。
発災時点は、平日午前9時とします。

項目/時系列	1日目				2日目	3日目
	0～3h (9:00-12:00)	3～6h (12:00-15:00)	6～12h (15:00-21:00)	12～24h (21:00-9:00)	24～48h (9:00-9:00)	48～72h (9:00-9:00)
組織・体制 (災害対策本部 立ち上げ)	災害対策本部を設置。 本部長(病院長)指揮のもと、通信手段(衛星電話・災害用スマホ)の確保、院内放送で本部設置を宣言。	本部会議を開催。院内被災状況・人的被害・ライフライン状態の全体像を集約・評価し、診療継続レベルを提示	今後の受入体制やトリアージ等の対応方針を再整理。定期的本部会議の開催・情報共有体制の確立	夜間帯の本部体制(当直・夜間参集職員による運用)へ切り替え、本部機能を継続維持。	発災2日目本部会議。外部応援(DMAT等)の受入状況・ロジスティクス状況の評価と課題抽出。	復旧・中長期運用へ向けた本部体制の見直し。
職員の 安否・参集	平日日勤帯のため発災時在院職員で初動対応を開始。各所属長による在院職員・患者の安否確認。緊急連絡網による安否確認・自動参集(震度5強以上、居住地から5km以内)開始。	参集確認リスト(様式4)等に基づき、参集職員の把握と役割分担指示	未確認職員の安否追跡を実施。参集状況に応じた配置転換。		発災25時間以内の安否確認完了を目指す。交代要員の確保。	
建物・設備 (被害状況)	発災直後の身の安全確保、二次災害防止措置(落下物・通路確保)。経理・施設部門による建物耐震性・設備・機器(CT・MRI等)の被害状況一次確認。	被災状況チェックリストに基づき、インフラ・建築被害の詳細評価。	安全性が確認されたエリアへの診療機能・危険エリアの立ち入り制限管理。	余震等に伴う設備二次被害の定期点検。	専門業者による施設・高度医療機器の安全点検。復旧見通しの立案。	応急修繕の実施と中長期的な施設利用計画の策定。
ライフライン (電気・水道等の稼働確認、制限)	商用電源停止・上水道不通の検知。非常用自家発電装置の自動稼働・接続確認(供給量通常の約65%)。節水・節電の指示、手洗い水制限、衛星携帯電話の稼働開始。	自家発電用A重油残量確認(備蓄約3.5日分)。受水槽(102,000L:通常使用で1.4日分)の残量確認および飲用水・雑用水(プール水)の使用制限徹底。	排水制限・簡易トイレ運用切り替え(上下水道破損リスク対策)。	各ライフライン消費速度の定期モニタリング。	電力・燃料・給水車手配等について行政・供給事業者へ調達調整要請。	給水車・燃料補給の状況確認、継続運用可能期間の再計算。
食糧・飲料水 (在庫対応・支援要請)	栄養管理室・各部署による備蓄食糧・飲料水の在庫確認(患者用180人分×3食×3日分等)。	1食目の災害非常食供給準備。職員用非常食・食糧の配分計画整理。	患者・参集職員への夕食配給実施。	朝食の配給および2日目の以降の食糧消費ベースの算出。	自院備蓄の枯渇を見越し、行政・社会福祉協議会等へ食糧・飲料水の支援要請実施。	支援物資(食糧・水)の受入れと定期供給の継続。
医薬品・医療資 機材 (在庫対応・支援要請)	薬剤部・MEセンター等による医薬品・医療材料・酸素ボンベ備蓄量、その他機器の確認。	トリアージエリア・救急部門への優先配分。	中等症医療介入に伴う消費スピードの把握と不足予測の算出。	院内在庫の省力・優先使用運用の実施。	薬剤師会・災害薬事コーディネーター・県保健医療調整本部へ不足医薬品・資機材の補給要請。	支援物資の受入れ、在庫管理および継続供給体制の維持。
入院患者対応 (避難・誘導)	既存入院患者(および老健入所者)の安全確認・点検(点滴・酸素・接続機器等)。落ち着いた二次被害防止・避難誘導準備。	主治医と連携し、一時退院(災害退院)可能患者および軽棟・重症搬送対象患者の選定開始。	一時退院の手続き・家族連絡の実施。病棟増床体制の準備(空床確保)。	病棟内の夜間巡回強化および入院患者の状態モニタリング。	ライフライン停止影響(自家発電停止等)を見越した広域搬送対象患者の抽出。	安定期への移行および広域・地域内搬送の継続調整。
外来診療 (トリアージ)	既存定期外来患者の安全確保と可及的速やかな診療完了・帰宅誘導。正面玄関にトリアージポスト・トリアージエリアの設置開始。	多数傷病者受入に伴うトリアージ開始(赤・黄・緑・黒のエリア誘導・対応)。中等症対応。	傷病者の継続受入および受診者リスト(書式7)の集約。	夜間救急・トリアージ体制の運用。	外来受診ニーズの推移確認、一般外来休診と緊急外来集中運用継続の周知。	外来診療機能の縮小継続または段階的平常化の検討。
救急受入 (可否・制限)	自院の受入可能体制(医師・看護師・受水槽・非常電源)の評価。救急車両動線および駐車場の整備・交通整理(リハビリ科・施設課等)。	消防・行政へ救急受入可能数・状況の連絡。救急車・自力来院者の受入開始。	空床状況・資料消費に応じた救急受入制限・条件の適時調整。		地域医療機関との受入分担・調整。	救急需要の推移に応じた受入制限緩和の検討。
手術・透析 (他院へ要請)	予定手術の休止・延期判断。施行中の手術の安全かつ可及的早期終了。	災害創傷等に伴う緊急手術体制の確保(整形外科中心の待機体制)。	自院対応不能な高度手術・特殊処置対象者の転院搬送調整。		水道・インフラ制限に伴う他院への搬送要請調整。	地域圏域内での手技・手術機能の分担・調整。
支援体制 (DMAT等の受入、活動場所)	EMISへ被害状況・受入可否(第一報)の入力・発信(目標1時間以内)。DMAT受入拠点の設置決定(活動場所:地域連携室横 医療安全相談室、休憩場所:応接室)。	到着したDMAT隊の受入、クロロジー(活動記録)設置、院内情報・傷病者状況のオリエンテーション。	DMAT等による本部支援診療支援・広域搬送調整の本格開始。	支援チームのロジスティクス管理・交代調整。		支援チームの交替・引継ぎ調整、活動評価。
自由意見欄	(例:地域の医療機関と共有・調整したい事項、保健所・行政へ期待する支援等) 発災3日目(72時間)以降の重油(A重油)および医療用水(給水車)の優先補給ルート・調達手順の認識共有。 圏域内医療機関におけるEMIS未稼働時の通信代替手段(衛星電話・FAX等)による患者受入・搬送情報の集約ルール確立。 多数傷病者発生時における広域搬送(DMAT等による自院からの患者搬出)の迅速なマッチング・調整支援。 長期断水時における簡易トイレ・衛生資材・職員/患者用飲料水の優先供給。					

令和8年度第1回宇和島圏域災害医療対策調査票

所属名： 宇和島徳洲会病院

【御依頼】貴院における大規模地震発生後の3日間(72時間)の想定アクションを記載してください。
発災時点は、平日午前9時とします。

項目/時系列	1日目				2日目	3日目
	0～3h (9:00-12:00)	3～6h (12:00-15:00)	6～12h (15:00-21:00)	12～24h (21:00-9:00)	24～48h (9:00-9:00)	48～72h (9:00-9:00)
組織・体制 (災害対策本部 立ち上げ)	本部設置 初動方針 EMIS入力	災害対策会議 EMIS詳細入力			災害対策会議	災害対策会議
職員の 安否・参集	安否・参集通知 集計・報告				勤務・配置計画	
建物・設備 (被害状況)	点検・報告 立入制限等	業者へ復旧・点 検要請	施設保安対策		EMIS更新	EMIS更新
ライフライン (電気・水道等の 稼働確認、制限)	水使用制限 通信手段確保	業者へ復旧・点 検要請 ポータブル発電 機準備			EMIS更新	EMIS更新
食糧・飲料水 (在庫対応・支援 要請)	入院患者向け食 事提供体制				ニーズ把握 支援要請検討	
医薬品・医療資 機材 (在庫対応・支援 要請)	在庫・備蓄状況 報告				ニーズ把握 支援要請検討	
入院患者対応 (避難・誘導)	全館避難・転院 要否判断	受入要請 転院準備・搬送 要請				
外来診療 (トリアージ)	通常外来中止／ 活動エリア設営	診療体制の情報 発信／被災者受 入				
救急受入 (可否・制限)	制限受入					
手術・透析 (他院へ要請)	透析中断 手術中止・延期	受入要請 転院準備・搬送 要請				
受援体制 (DMAT等の受 入、活動場所)					派遣要請 受援準備	

自由意見欄	(例:地域の医療機関と共有・調整したい事項、保健所・行政へ期待する支援等) ・多数の入院患者を転院調整するため事前に計画化できること・医薬品・医療資機材の支援要請につい ての具体的な方法(品目指定可能? 要請フォーマット?)
補足	・本調査は、各医療機関の災害対応を共有し、圏域内の連携強化を目的として実施するものです。 ・現時点で想定している対応について、簡潔に御記載ください。(箇条書き、矢印での図示等) ・未定・該当等、回答が難しい項目は、その旨を御記載ください。

令和8年度第1回宇和島圏域災害医療対策調査票

参考

所属名：宇和島保健所

【御依頼】貴院における大規模地震発生後の3日間(72時間)の想定アクションを記載してください。
 発災時点は、平日午前9時とします。

項目/時系列	1日目				2日目	3日目
	0～3h (9:00-12:00)	3～6h (12:00-15:00)	6～12h (15:00-21:00)	12～24h (21:00-9:00)	24～48h (9:00-9:00)	48～72h (9:00-9:00)
組織・体制 (災害対策本部 立ち上げ)	保健福祉対策班 設置、資材確 保、指揮命令系 統確立、本部会 議対応(2h以内)	災害医療対策会 議立上げ通知、 委員の状況確認	各市町・災害拠 点病院と連携、 災害医療対策会 議の開催準備		災害医療対策会議開催 →被災状況伝達、各種調整実施	
職員の 安否・参集	防災メール、職 員参集状況 →所内・地方本 部へ報告	役割分担 職員配置計画作 成			19時 職員配置 計画更新	19時 職員配置 計画更新
建物・設備 (被害状況)	確認結果を D24Hへ入力 執務環境整備	トイレ使用不可 →ポータブルトイレ確保				
ライフライン (電気・水道等の 稼働確認、制限)	確認結果を D24Hへ入力 通信手段(衛星 電話等)確保	電気不通時は 紙、使送対応。 非常用発電機確 保				
食糧・飲料水 (在庫対応・支援 要請)	持参できていな い職員の非常 食、飲料水を確 保					
医薬品・医療資 機材 (在庫対応・支援 要請)	要請に備えて保 健所の備蓄医薬 品を準備	ニーズの把握	災害薬事Co.と 連携し、供給状 況を確認、調整		要請に基づき備 蓄医薬品を供給	不足分を県庁に 要請
職員の派遣	地震発生時緊急 配備要員・指名 職員は総務県民 課へ	要請に基づき市 町にリエゾン派 遣	要請に基づき市 町に救護班派遣			
EMIS	入力要請(状況 により代行入力)	要支援の機関を 把握→県庁と連 携し支援検討			更新確認	更新確認
受援体制 (DMAT、DHEAT 保健師チーム、 DPAT等の受入)					受援体制の調整	
その他	県庁と連携し、 現地のマスコミ 対応	公表する情報の 管理、発信				

自由意見欄	(例:地域の医療機関と共有・調整したい事項、保健所・行政へ期待する支援等)
補足	・本調査は、各医療機関の災害対応を共有し、圏域内の連携強化を目的として実施するものです。 ・現時点で想定している対応について、簡潔に御記載ください。(箇条書き、矢印での図示等) ・未定・該当等、回答が難しい項目は、その旨を御記載ください。